

2026(令和8)年度 家庭教育学級実施要項

1 ねらい

家庭教育とは保護者などが子育ての中で、基本的な生活習慣や物の見方、考え方、価値観など人格の基本となるものを身につけさせるために、各家庭で行う教育です。家庭内の豊かな人間関係を基盤とし、好ましい子どもの成長発達に応じて行われるものです。そんな家庭教育を創造していくために計画的、継続的に交流しながら活動していく場が家庭教育学級です。そこで、次の点を基本的な考え方とします。

- ・あらゆる教育の原点は家庭である。・学び合い、交流しながら家庭の教育力を高める。
 - ・家庭で躰け育てる、学校で教え育てる、地域で見守り育てる。・毎日の生活の中で子育てを楽しむ。
- また、これらの基本的な考え方を受け、次のようなねらいで取り組んでいきます。

- ① 子育てについて学習しあい、交流しあって望ましい家庭をめざす。
- ② 家族のふれ合いを深める取り組みを行う。
- ③ 生涯学習のきっかけづくりをする。

2 実施計画

開催日時	テ ー マ	ね ら い	講 師	場 所
7月19日(日) 9:30～11:00	「絵本の読み方・選び方」—絵本いろいろ、読み方いろいろ— ＜対象＞一般・全 幼保小中保護者	絵本を読んでもらうことは、子どもにとって大きな喜びです。絵本の言葉が読み手の心情をとめない、子どもに伝わり、ささやかな自尊心を与えてくれます。これまでの活動で出会った本を紹介します。	「絵本からのメッセージ」 実行委員会代表 杵田 典子さん	中央公民館 創作室
9月29日(火) 9:30～11:00	「音の和は、心の和」 ＜対象＞一般・全 幼保小中保護者	音は一つ一つ違います。しかし、音と音とが重なり合うと新しい音が生まれハーモニーします。人も一人一人違います。しかし、思いが一つになったとき心がハーモニーします。互いの音を聴き、一つの音楽を創り上げる達成感が、互いを認め合う活動を通して。	斑鳩南中学校校長 上西 秀勝さん	中央公民館 創作室
10月29日(木) 13:30～15:00	自分の中のマイクロアグレッションと多文化共生 ＜対象＞一般・全 幼保小中保護者	自分の無意識の偏見に気づき、多文化共生を妨げる要因を理解し、対話的に改善の視点を学びます。 (町人権セミナーに参加)	大阪成蹊大学 教育学部准教授 山田 文乃さん	中央公民館 大ホール
11月17日(火) 13:30～15:00	「ふるさと～だれもが胸をはって語れるように～」 ＜対象＞一般・全 幼保小中保護者	部落問題や在日外国人（とりわけ韓国・朝鮮人）問題、そしてふるさとを破壊する戦争にかかわる歌とお話を通して、人権について考えてみたいと思います。 (町人権セミナーに参加)	奈良県人権教育推進協議会 事務局長 浦 一志さん	中央公民館 大ホール
12月15日(火) 13:30～15:00	インターネットと人権～フェイクやハイトを許さない～ ＜対象＞一般・全 幼保小中保護者	インターネットで世界中の情報と繋がるわけではありません。「井の中の蛙の唯我独尊」による差別と排外」を強化するアルゴリズムを読み解きます。 (町人権セミナーに参加)	みずいろcafé 黒田 恵裕さん	中央公民館 大ホール
2月21日(日) 9:30～11:00	「教育の不易と流行～家庭・学校・社会教育の現場から～」 ＜対象＞一般・全 幼保小中保護者	「人格の完成」と「社会の形成者」を目的とする教育について、具体的な例を提示し、家庭教育・学校教育・社会教育の視点から、その歴史的な背景を取り上げる。また自分がこれまで体験した事象とともに、発達段階に応じた家庭教育の重要性について参加者の視点から述べていきたい。	斑鳩町 社会教育指導員 三宅 康文さん	中央公民館 創作室